

聖書箇所：使徒の働き1：3～11

タイトル：キリストは今、どこで何をしておられるのか

テーマ：イエスの十字架と復活こそ、私たちの信仰の土台であり、クリスチャンはそれを信じているが、復活されたイエスがその後、どのように天に上げられ、どこにおられるのか、どのような働きをして下さっているのか、意外と考えたことがないと思われる。イエスの昇天が私たちに何をもたらしたのかを考えてみる。

初めに

- (1) 文脈の確認
- (2) 「キリストが昇天された」事実
- (3) 「キリストの昇天」が意味すること
- (4) キリストの新しい働き
- (5) キリストと聖霊の関係
- (6) 結論と適用

本論

- (1) 文脈の確認

参照箇所——ルカ24：50～53→使徒1：9～12

マルコ16：19

- (2) 「キリストが昇天された」という事実

場所 ベタニヤ側のオリーブ山

状況 ・天に上げられた(父なる神によって) ・雲に包まれて見えなくなった

・白い衣を着たふたりが、弟子たちのそばに立っていた

- (3) 「キリストの昇天」が意味すること

①キリストの地上生涯が終わった

②父なる神の右の座に着かれた(マルコ16：19)

- (4) キリストの新しい働き

①聖霊時代の到来

・聖霊はイエスが父なる神のもとに帰ってから来られた(ヨハネ14：16, 17, 26)

・ペンテコステの日に聖霊降臨の約束が成就(使徒2：32～33)

②教会のかしらとなられた

- ・教会を生み出した（聖霊降臨による教会の誕生→キリストが聖霊を遣わされた）
- ・教会に種々の賜物を与えて下さる（ロマ 12：3～8、I コリ 12：4～11）
- ・教会に力を与える
  - キリストの役割（信者を訓練し励ます） 信者の責任（キリストにとどまる、イエスの命令を実行する） ヨハネ 15：10、I ヨハネ 3：24
- ③大祭司となられた
  - ・信者のためのとりなし ヘブル 7：25
  - ・人間の弱さを思いや下下さる ヘブル 2：18、4：14～16
  - ・私たちの先駆けとして天の幕屋に入られた ヘブル 6：19～20
- ④私たちの住まいを用意して下さる ヨハネ 14：1～3

#### （5）キリストと聖霊の関係

##### ①聖霊の呼び名

- ・主の御霊（ルカ 4：18、使 5：9） ・イエスの御霊（使 16：7）
- ・神の御霊（マタ 3：16、12：28、ロマ 8：9、14等々）
- ・父の御霊（マタ 10：20） ・御子の御霊（ガラ 4：6）
- ・キリストの御霊（I ペテロ 1：11）

##### ②キリストの内住と聖霊の内住は、同じこと？別のこと？

##### ③その他

結論と適用